

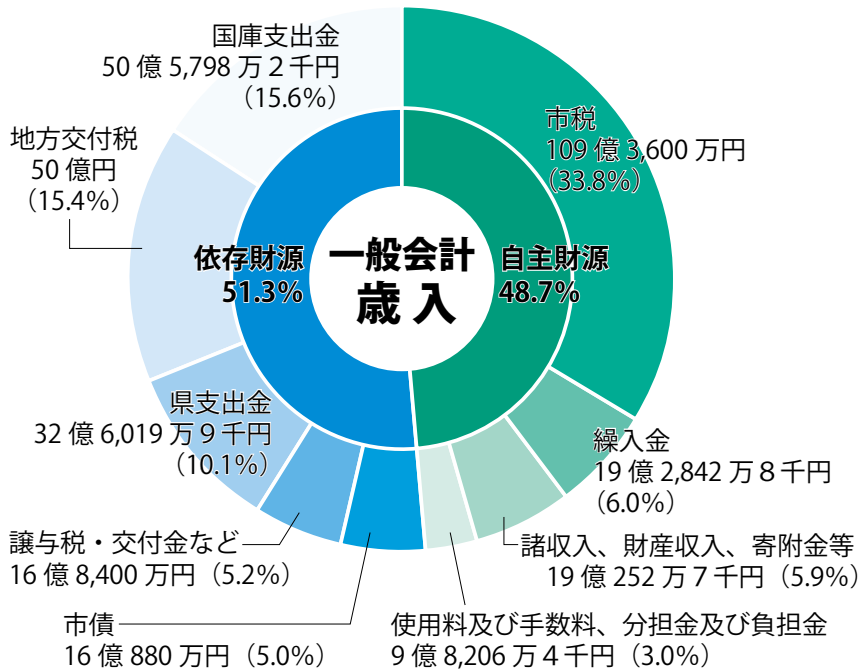


ハートフルで 市民が主役のまちをめざして

平成31年度予算総額は703億6093万9千円



ハカセ



■平成31年度会計別予算額

(△：増 ▼：減)

会計別	当初予算額	前年度比増減率(%)
一般会計	323億6,000万円	▼11.6
特別会計	158億1,680万円	△1.1
国民健康保険	84億7,000万円	▼0.8
介護認定審査会共同設置事業	3,330万円	△0.9
介護保険事業（保険事業勘定）	62億3,000万円	△4.5
介護保険事業（サービス事業勘定）	1,200万円	▼7.7
文化会館事業	8,800万円	△4.8
後期高齢者医療	9億5,000万円	▼3.4
大中の湖地区基幹水利施設管理事業	3,350万円	△8.1
企業会計	221億8,413万9千円	△0.8
水道事業	28億2,097万2千円	▼0.2
下水道事業	41億7,754万1千円	▼2.7
病院事業	151億8,562万6千円	△0.8
総 額	703億6,093万9千円	▼5.3

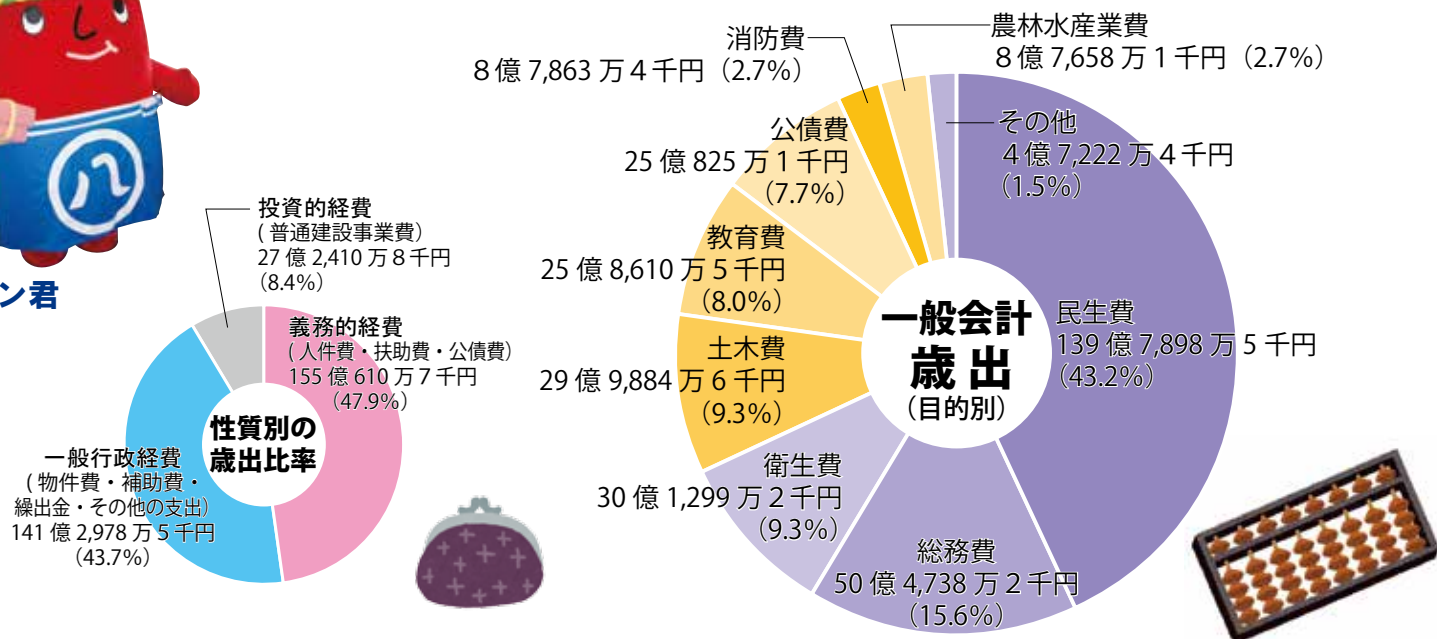
赤コン君 一般行政を行うための一般会計は、昨年度に比べ

一般会計予算は
323億6千万円
(前年比11・6%減)

赤コン君 ハカセ！近江八幡市の平成31年度の予算が決まったんですね。
ハカセ えへん！3月の市議会定例会で可決され成立しました。同じく定例会で承認されたわがまちの羅針盤ともいえる第1次総合計画に掲げられた6つの基本目標を柱に、子育て支援・観光・文化の振興などを図り活力ある地域づくりを実現し「憧れをもってもらえるまち 近江八幡」を目指した未来志向型予算とし、持続可能なまちの実現のため、財政の健全化への取り組みに対応した予算としました。



赤コン君



■借金と貯金はバランスを重視

※平成31年1月末時点の人口(82,159人)で計算しています。

市債(借金)は
市民一人あたり **33万5,754円**
(前年度より8,369円減少)

平成31年度は、竹町都市公園整備事業や認定こども園などの整備に対し市債を発行します。また、交付税措置のない市債などの発行を抑えるとともに、返済期間の抑制を進め、市債残高の抑制に努めます。

基金(貯金)は
市民一人あたり **16万3,719円**
(前年度より6,212円減少)

事業目的を実現するためにこれまで積み立ててきた基金は、市民のニーズに応えるため積極的に活用します。また活用の見込まれない市有財産の売り払い収入やふるさと応援寄付金などを基金に積み立てて将来に備えます。

【主な用語の説明】

扶助費…福祉医療や生活保護費、保育所や障がい福祉などに必要な費用
人件費…市長などの特別職、職員の給料や、議員、各委員の報酬など
公債費…市の借入金の返済
物件費…光熱水費、消耗品費などの消費的経費

補助費等…各団体への補助金や病院事業などに要する経費
繰出金…国民健康保険など特別会計に要する経費
普通建設事業費…道路や学校などの建設事業に要する経費

赤コン君 一般会計のおおまかな使い道について教えてください。

一般会計の使いみち (歳出の内訳)

ハカセ 歳出ですが、義務的経費は、所得制限を児童手当基準に引き上げた子ども医療費助成の拡充に加え、施設整備の行われた障害福祉サービスなど給付事業費や保育事業費などの扶助費の増加により前年度より3.6%増の約15.5億1千万円を計上しました。また、一般行政経費は、子育て支援や観光・文化の振興に向けた施策の実施により物件費や補助費などが増加する一方で、市有財産の売却に伴う基金積立金の減少などにより約14.1億3千万円を計上しました。さらに投資的経費は、市庁舎整備の見直しや岡山コミュニティエリア整備事業などの完了により前年度比63.4%減の約27億2千万円を計上しました。主な事業と予算は次のページをご覧ください。

一般会計の財源 (歳入の内訳)

赤コン君 一般会計の財源は？

ハカセ 一般会計の財源つまり歳入ですが、個人および法人市民税は景気動向を見すえ雇用・所得状況の改善による増収を見込み、全体で10.9億3600万円としました。また、財政の健全化と世代間負担の公平性の観点から、将来世代も含め負担する市債つまり市の借金と今の世代が蓄えた基金つまり貯金のバランスを考慮し、市債は約16億1千万円、基金繰入額は約19億3千万円をそれぞれ計上しました。



昨年末に完成した岡山コミュニティエリアのシンボルタイルアート「春夏秋冬」

赤コン君 わかりました！

平成31年度の主な事業と予算

「第1次総合計画」に掲げられた6つの基本目標に沿った重要テーマに予算を配分します

※担当課名は平成31年3月時点の名称を掲載しています。

③福祉・医療・人権

子ども医療費助成事業

1億3,943万1千円(保険年金課)

小学校1年生から中学校3年生までの児童生徒の通院医療費の助成対象者の所得制限を緩和し、子どもの保健の向上および子育てにかかる経済的負担の軽減を図ります。



特定不妊治療費助成事業

415万円(健康推進課)

特定不妊治療や不育症の検査・治療費にかかる経済的負担の軽減を図るため、治療費などの助成を行います。

高齢者健康づくり基盤整備推進事業

177万7千円(健康推進課)

介護予防および認知症予防を目的に、NPO・医療介護関係者・行政が協働してウォーキング・居場所づくり事業を実施します。



コグニウォーク ▶

④産業・観光振興

産地生産拡大事業

182万5千円(農業振興課)

6次産業化の推進や農水産物の販路・消費拡大などの支援をはじめ、水郷ブランドの認証による農産物の付加価値化への取り組みを進め、品質向上と市場での優位性を図ります。



◀水郷ブランドの農産物のマーク

市営土地改良事業

1億8,139万円(農村整備課)

市が管理する土地改良施設や公共性の高い施設の管理を行うとともに、八幡西中学校前の農道の整備を進め、地域農業の振興を図ります。

①教育・人づくり

施設型給付事業

17億1,540万円(幼児課)

「きりはら遊こども園」の開設により待機児童の解消を図るとともに10月からの幼児教育無償化(3～5歳児)に対応します。

小・中学校ICT教育推進事業

9,154万8千円(教育総務課)

各小中学校に校務支援システムを導入し業務の効率化を図ることで教育の質向上に努めます。

特別支援教育推進事業

2,788万4千円(学校教育課)

特別な支援が必要な児童生徒の支援を充実させるため、特別教育支援員の増員を図ります。また、医療的ケアが必要な児童生徒に対し看護師を配置し支援体制を整えます。



市内小中学校特別支援学級学習発表会 ▶

利用者支援事業

1,464万5千円(子ども支援課)

子育て家庭の相談やニーズに沿った支援を受けられるよう、より利用しやすい総合相談窓口を設置し、子育て環境の充実を図ります。

②環境・歴史・文化

文化財保存活用地域計画策定事業

1,126万1千円(文化観光課)

文化財の計画的な保存・活用を図るため、文化財保存活用地域計画を策定します。



◀BIWAKO ビエンナーレ 2018

一般廃棄物処理関連事業

5,179万2千円(環境課)

適正なごみの分別ルールを周知するとともに、引き続き、小型家電リサイクルの推進に取り組めます。

⑥地域自治・行政経営

新市庁舎整備事業

2,358万2千円(市庁舎対策室)

新しい市庁舎を整備するため、基本計画の策定を行います。

シティプロモーション事業

600万円(文化観光課)

地域の活力を維持・増進および持続的な発展を目指し、交流人口・定住人口の拡大を図るため、シティプロモーションに取り組みます。



◀時代劇の似合うまち
おうみはちまん

SDGs推進事業

456万2千円(政策推進課)

SDGsの普及啓発、未来づくりキャンパスの開催により次世代の若い担い手を育成します。

⑤都市整備基盤

防災活動事業

1,423万円(危機管理課)

災害に強いまちづくりと災害に即応できる人づくりを推進するため、災害用備蓄品の確保や自治会などの消防設備の整備および自主防災組織の設置・育成を図ります。

八幡小学校施設および八幡コミュニティセンター整備事業

451万1千円(教育総務課・まちづくり支援課)



八幡学区の避難施設としての機能を向上させるため、施設整備に向けた設計を行います。

◀八幡学区まちづくり協議会の避難所設営訓練

竹町都市公園整備事業

5億7,852万1千円(公園課)

健康ふれあい公園のプール棟・屋根付き多目的広場の整備に引き続き、クラブハウスおよびサッカー場の整備に取り組みます。



市民一人あたりで計算すると？

市民一人あたりの予算額を平成31年1月末の人口(82,159人)で算出しました。

前年度との増減比較の主な理由は次のとおりです。

民生費の増…子ども医療費助成事業費、障がい福祉サービスなどの給付事業費の増加など

総務費の減…市庁舎整備事業の見直し、岡山コミュニティセンター整備事業費の減少など

教育費の減…岡山小学校整備事業費の減少など

()内は前年度当初予算との増減比較(△:増 ▼:減)

●負担するお金

個人市民税	48,564円	(△1,383円)
法人市民税	8,642円	(△616円)
固定資産税	59,774円	(△1,273円)
都市計画税	7,729円	(△68円)
市たばこ税	5,234円	(▼116円)
軽自動車税	2,958円	(△259円)
入湯税	207円	(▼12円)
合計	133,108円	(△3,470円)

●使われるお金

民生費	170,145円	(△7,559円)
(高齢者福祉、児童福祉など)		
総務費	61,434円	(▼39,683円)
(市役所の管理事務、自治振興、交通安全対策など)		
衛生費	36,673円	(▼4,855円)
(保健衛生やごみ処理など)		
土木費	36,501円	(▼4,926円)
(道路、河川、都市計画など)		
教育費	31,477円	(▼11,353円)
(小・中学校や幼稚園、社会教育など)		
公債費	30,529円	(△28円)
(市の借入金の返済)		
消防費	10,694円	(△99円)
(消防、防災など)		
農林水産業費	10,669円	(△2,198円)
(農業・漁業・林業の振興など)		
その他	5,748円	(▼467円)
(議会、商工業振興など)		
合計	393,870円	(▼51,400円)

平成31年度の各会計別の予算書や予算の概要については、市ホームページの財政課のページに掲載していますのでご覧ください。また、市情報公開コーナー(市役所1階ロビー、総合支所1階ロビー)でもご覧いただけます。